

E-ディフェンス実験見学会 報告

(鉄筋コンクリート建物の耐震補強実験)

主催：(社)日本技術士会近畿支部建設部会
NPO法人都市災害に備える技術者の会

兵庫県三木市にある兵庫耐震工学研究センター（E-ディフェンス）における実験の見学会を2006年10月30日（月）に合同で実施しました。実験の目的は、「3階建て学校校舎を模した鉄筋コンクリート建物の耐震補強の有効性検証」です。なお、当日の実験に先立ち、9月に同じモデルで補強なしの振動実験を行い、今回の実験と併せて比較検証することになっております。

実験は阪神大震災と同等の揺れ（震度6強）を与え、1970年代の古い設計基準で建築した校舎の被害の程度を調査します。今回は耐震補強をしているので外見上の変形や破損は認められませんでした。

今後この実験の成果が、設計基準や耐震工法の発展に寄与するものと期待されます。

なお、蛇足ですが、姉歯による偽装設計と同じものをここで実験し、破損程度を調査し、被害者救済策に役立てることはできないものかと考えてしまいました。

(文責 林 義隆 応用理学・建設・森林)



今回10月の実験状況（建物基礎は直接基礎とし、砂質土の上に建築されている）この後、さらに基礎を振動台に剛結して実験が行われる予定



前回（無補強）9月の実験状況基礎を振動台に剛結した実験後で柱の圧縮破壊が見られる。